



【「新聞の報道記事のリードを書く」―大原はだか祭り―】

【解答例】

- （九月二十三、二十四日、江戸時代から行われている「大原はだか祭り」が開かれ、祭りの見せ場である「汐ふみ」が行われ、多くの観客が訪れ、全国的にその名をとどろかせた。（四十三文字）

書き出しの言葉である、「九月二十三、二十四日、江戸時代から行われている『大原はだか祭り』が開かれ、」は、【取材した内容の一部】の①と②の内容をまとめたものである。ですから、解答には、【取材した内容の一部】の③と④の内容を条件に合わせてまとめる必要があります。



一文で書き表すためには…

- 重なる主語を省略する。

③ 大原はだか祭りでは、祭りの見せ場である「汐ふみ」が行われた。

④ 大原はだか祭りでは、多くの観客が訪れ、全国的にその名をとどろかせた。

③と④の内容は、主語がどちらも「大原はだか祭りでは」であり、リード文の『大原はだか祭り』が」と重なってしまうので省略する。

- 残った部分をつなぎ合わせる。



新聞記事を書くときには、事実と意見の書き分けや理由や根拠こんきよと結論の関係をおさえることなどが大切です。特に大切なのは、簡潔かんけつに書くことです。一文が長くなる場合には、適切な接続語を使って二文に分けるなどしましょう。